

木曾駒ヶ岳（個人山行）

（報告） F 島

◎期日：2021年4月10日（前泊日帰り）

◎メンバー：F島（L）、K藤、T川、F澤、M山

2月半ば頃、また冬山に行きたいと思い、ロープウェイで冬山登山ができる場所として中央アルプス木曾駒ヶ岳に行こうと思い立った。「また」というのは、2月初旬に谷川岳の天神平からオキの耳まで往復したからである。冬でも営業しているロープウェイで標高を稼ぐ事ができ雪山を日帰りできる気軽さに味を占めてしまった。勿論天気がいい日限定で。

ただ、計画を立てたものの週末になる度に天気予報がよくならず延期の連続。千畳敷カールは雪崩が多いため登山日前の天気や雪の状態を考慮しなければならない。天気予報が微妙な日は延期にし、万全を期した。気づくとはや4月。関東では桜が咲き春気分になった頃、参加メンバーと約束した4月10日が近づいたため、行きましようとの連絡をとった。幸いにも当日の天気予報は良く今度こそは行けるだろうと期待が膨らむ。

前日夜に菅の台バスセンター駐車場まで2台の車で移動し、車内で仮眠を取る。翌朝は文句なしの快晴。いつの間にか車が増えていて既にバス停には登山者の荷物が並んでいた。我々はゆったりペースで準備を進めバスに乗り込んだ。

つづら坂をバスが進み、もうすぐロープウェイ駅という場所で、エンジントラブルでバスがストップ！バスの外後方からは煙が出て、早く降りてくださいとのアナウンスが流れた。幸いにも代行のバスがすぐさま来たため乗り換えて難を逃れた。ナイスリカバリーだがタイミングが良すぎる。たまたまなのか、何なのか…。

ロープウェイに乗り高度を稼ぐと麓の街や南アルプスが見えてきた。中央アルプス側は雪が沢山残っている。標高が高くなるにつれて、空の青さが濃くなってきた。千畳敷駅の外には千畳敷カールが広がっており、登山開始前からいきなりの息を飲むスケールの大きさに思わずシャッターを切る。全員の記念写真を他の登山者に撮っていただき登山開始。



千畳敷にて

予定ルート

千畳敷～乗越浄土～中岳～木曾駒ヶ岳～中岳～乗越浄土～千畳敷

夏道は、ジグザグ道のようなだが、積雪期は直登である。上の方に登るにつれて勾配がきつくなっている。途中、落石があったが登山者の列から横に離れていたので一安心。左上

方には宝剣岳がそびえ立ち、登頂できそうな距離感だがまた今度の機会にしようと思う。



筆者



M山さん、K藤さん、T川さん



M山さん

急登を終えて乗越浄土に到着し一本立てる。するとこれから向かうルートが見えてきた。部分的に雪がなくなっている。強風で吹き飛ばされたのだろうか。登ってきた千畳敷カールを見下ろすと、大きなすべり台の様である。夏の景色も見てみたい。

先を進むと、空木岳、三沢岳と眺望が素晴らしい。西側からも登るルートがあることは調べてなかった。見るからに山深そうである。中央アルプスは初めて来た山域のため新たな発見が多い。

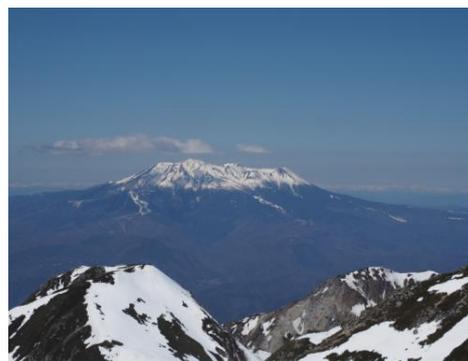
中岳山頂に着くと、御嶽山、乗鞍岳、北アルプスが望めた。特に御嶽山は、存在感があり素晴らしい山容。どの高山も雪と岩が混ざりあって春の高山ならではの景観に息を呑む。全員の集合写真を撮った後、木曾駒ヶ岳山頂に向けて進む。登山道の勾配は緩やかで開放感があり、景色は申し分なく、こんな優雅な登山はかつて記憶にない。時間の感覚が麻痺しそうになりかけた頃、木曾駒ヶ岳山頂に到着した。山頂には立派な神社の鳥居がある。お祈りは後にして、各自で大パノラマを見ながら行動食などで昼食をとった。

太陽が雲に隠れると急に寒く感じ、グローブを外していた手があつという間に冷たくなる。4月とはいえ雪が残る標高 3000m だ。ただそれを忘れるほど、日が出ているうちは穏やかで暖かい。

木曾駒ヶ岳神社奥社に安全登山を祈願して、下山開始。特に危険なところはなく引き続きの雲上散歩だ。中岳からの下りで、F澤さんとM山さんが持参のソリをお尻に敷いて滑走した。その後、T川さんと私もソリを借りて下る。結構スピード出ますね、これ。



F澤さん



御嶽山



木曾駒ヶ岳山頂



F澤さん撮影のパノラマ写真

千畳敷カールの下りで、K藤さんと私はピッケルを使い、ソリなしで尻を斜面に付けて滑り下りた。グリセードではなく尻を付けるのでシリセード？と言うらしいが、ピッケルのスパイクでブレーキを掛けるのがコツとのこと。大人になっても、こんな雪遊びは楽しい。



F澤さん滑走

下りの一部を滑って下ったものだから、計画より早く千畳敷駅に到着し、楽しかった木曾駒ヶ岳登山は終了。菅の台バスセンター駐車場に戻った。

帰りの車の中から桜が咲いているのを多く見かけた。長野は今は満開のようだ。空気が澄んでいるのか日の光がキラキラ光って桜が映える。楽しかった山行を振り返り、余韻に浸りながら家路についた。

計画当初は延期が続き、実現までには時間がかかったが、参加される方が当初より増えて、ベストなタイミングで春の雪山登山ができたことが嬉しかった。皆様ありがとうございました。

<<参考コースタイム>>

菅の台バスセンター (7:45) ~しらび平ロープウェイ駅 (8:30) ~
千畳敷 (8:45~9:45) 発~乗越浄土 (10:10) ~中岳 (10:50) ~
木曾駒ヶ岳 (11:30~12:10: 昼食) 発~中岳 (12:50) ~乗越浄土 (13:15) ~
千畳敷 (13:30~14:00) 発~しらび平ロープウェイ駅 (14:15) ~菅の台バスセンター (15:35)

※次頁 「集合写真ギャラリー」に続く

(了)

集合写真ギャラリー

